

平成30年度 第4回富里市教育委員会定例会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成30年6月26日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時45分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 教 育 長 國 本 與 一
教育長職務代理者 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
委 員 田 口 明
- 4 出席職員 教 育 次 長 中 嶋 保 雄
教育総務課長 中 津 義 孝
参事兼学校教育課長 竹 尾 裕 之
学校給食センター所長 押 尾 忠 久
生涯学習課長 梶 山 健 二
図 書 館 長 荒 居 富 男
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 小 川 正 久

平成30年7月24日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 教育長開会宣言

【教育長】平成30年度第4回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成30年度第3回定例会議会議録承認

(署名人：佐々木委員，會田委員)

3 教育長報告

本日は，午前中の教科書に関する研修に続き，皆様に出席いただき誠に感謝する。本日の会議は，専決処分の報告，協議事項，報告事項，その他の内容となっている。

それでは出席行事等について報告する。

5月23日，富里市体育協会会長が印旛郡市体育協会会長に就任したことから，挨拶に来られた。事務局は本市社会体育館の一室に置かれることになる。

5月24日，印旛郡市学校保健会総会が本市で開かれた。これは，今年度と来年度の2か年，学校教育課で事務局を担当することになったためである。

26日，市内小学校4校の運動会に出席した。天候に恵まれて，無事に終了した。

6月2日，富里市PTA連絡協議会バレーボール大会が行われた。ハードの部は七栄小学校PTAが優勝，ソフトの部は富里小学校PTAが優勝した。

4日から21日にかけて，6月議会が開催され，全議案が可決されて閉会した。

11日，第1回旧洗心小学校跡地利活用検討委員会が開かれた。事務局は総務部企画課と教育総務課が担当し，ワーキングチームも発足した。今後，早期に利活用が図れるよう検討することになる。

18日と19日の2日間，校長の目標申告について面接をした。

24日，第35回スイカロードレース大会が開催され，無事に閉会した。詳細はその他事項で報告する。

今後の予定は，28日に平成30年度創年セミナー，30日に平成30年度とみっこ大学がそれぞれ開講する。7月7日には第69回印旛郡市民体育大会の開会式が本市の中央公民館で開催される。委員の皆様には応援などをよろしく願います。

4 教育委員報告

【委員】 5月6日、富里南小学校の運動会に出席した。今年のスローガンは「最高の仲間の南っ子友情深めて勝利の道へ」であった。応援団の元気な声とチームワークでみんなの気持ちを上手にまとめていた。入学したばかりの一年生も一生懸命に参加して、とてもかわいらしかった。上級生が一年生に声をかけている姿がよく見られた。中学生が係のフォローをしたり競技に参加したり、小中交流が図られていると感じた。頼もしい中学生の姿を見て児童の憧れも作られ、とても良い交流に思えた。先生方が目立つことなく、子どもたち自身で運動会を作り上げているようであった。校庭もきれいに整備され、全体に明るい雰囲気の中で運動会が進められた。

【委員】 5月22日、千葉県市町村教育委員会連絡協議会の総会に委員全員で出席した。定期総会終了後、道徳教育の抜本的充実に向け、文部科学省初等中等教育局教育課程課主任学校教育官による講演があった。小学校では今年度より特別の教科として道徳が全面実施となることから、興味深く拝聴した。道徳教育の充実が求められる背景としては、いまだ増加傾向にある深刻ないじめの本質的問題に向き合うことが必要であること、子供を取り巻く地域や家庭の変化、グローバル化や情報化の急速な進展などにより子供を取り巻く社会が大きく変わり、予測困難な時代を子供たちが生き抜いていかなければならない状況にあるという話があった。そうした中で、子ども達がどのように生きていかなければならないのか、どういうことを考え多様な人たちと議論を重ね、色々な人の強みを生かしながら、自分が納得できるような解決方法を見出す資質能力が求められているという話があった。これらの能力の育成に道徳教育が深くかかわっていくということで、これからの道徳教育の果たす役割の大きさを痛感した。そのためには、児童・生徒の一人ひとりには答えが一つではない道徳的課題を自分自身の問題として捉え、向き合い考え議論する道徳への質的転換を図っていく必要があるということであった。道徳の指導は、これまでも実践されているが、今までの実践をベースとしてより良いものに改善し、多様な指導方法を取り入れた授業を展開していかなければならない学校現場では、多忙化に拍車がかかるのではないかと感じた。また道徳教科の評価については、数値評価ではなく、授業の中で子供の変様や成長を認め、励ますという記述式で行う話があった。そうすると、指導する教諭がいかに授業改善していくかによって、子供たちの変容に大きな違いが出てくるのではないかとこういう心配が残った。出席者の中には、

この教科が本当に必要なのかという意見もあったが、これから道徳教育がどのように進んでいくかについては、見守って行かなければならないものを感じた。

5月26日、富里第一小学校の運動会に出席した。元気いっばいの入場行進から始まり、入学して2箇月足らずの一年生も堂々とし、しっかりした態度で開会式に臨んでいた。朝一番に行われた応援合戦は、紅組も白組も思考をこらしたパフォーマンスが見られ、それぞれのリーダーを中心に力の入った応援が繰り広げられた。どの学年の競技も今年のテーマである「失敗しても大丈夫、本気で走ろう全力で応援しよう、友達を信じて最後まで」のとおり皆が全力を出しきり、とても気持ちよく感じて応援した。また、用具係などには中学生の手伝いがあり、ジョイント・スクール活動が根付いてきている様子をうかがえた。

【委員】6月24日、第35回富里スイカロードレース大会に出席した。今年は、時々雨の降る大会となり、この時期にしては珍しく気温が低めで、ランナーにとっては走りやすい天候であったのではと感じたものの、天候のせいかな道沿いの応援者は例年より少なく感じた。

走行中の救急搬送者はなく、ゴール後の救急搬送が2名あったものの、大事に至らなかったと聞いている。全般的には良い大会であったと思うものの、5キロの部で乳母車に2歳くらいの幼児を乗せて走行するランナーを見かけた。これは絶対避けてほしいことで、事故に繋がりがねないので、来年に向けて徹底した対策が必要と感じた。準備等にあたり生涯学習課をはじめとした多くのスタッフに感謝する。また、来年に向けた準備が始まると思うが、さらに良い大会となるように協力をお願いします。

5 専決処分の報告

【教育長】専決事項の報告について、報告第1号行事の後援について、事務局からの説明を求める。

【参事兼学校教育課長】報告第1号専決処分の報告について、富里市教育委員会行政組織規則第12条の規定により、行事の後援について専決処分したので報告する。

行事名は「一生美容ラブズコレクション」であり、主催者は一般社団法人一生美容に恋する会、期日は平成30年7月24日午前10時から正午まで、場所は東洋理容美容専門学校でJR西千葉駅南口から徒歩1分のところとなる。後援の内容は名義使用であり、専決年月日は平成30年5月30日である。行事の概要は、現場で働いている美容師たち

が、仕事の価値や魅力を伝えるイベントとして、小・中学生を対象にヘアアレンジをしたり教えたりしながら将来なりたい職業の夢を持たせるなど、職業を考えるきっかけづくりとして富里市内の小・中学生を歓迎したいという趣旨であった。新規の承認である。

【教育長】ただいま専決処分の報告があったが質疑はあるか。

(質疑なしの声あり)

6 協議事項

【教育長】次に協議事項に入る。協議事項(1)平成29年度教育委員会点検及び評価(平成30年3月末時点)について、事務局より説明を求める。

【教育総務課長】教育委員会の点検及び評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教育委員会が、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己評価を行うものである。また、教育に関し学識を有する外部評価者からの意見・助言により点検評価の客観性を確保するとともに、継続して効果的な教育行政の推進に努めるものである。資料は、とみさと教育プランに位置付けられた基本目標を実現するための施策・事業について、達成指標、達成度、課題・改善点を明らかにして、必要性・有効性・効率性・方向性の4つの観点を勘案し、各課等で自己評価を行った報告書の草案である。本日は教育委員から草案についての意見等を伺い、内容に反映した後は、外部評価者の講評を添付した報告書を次回以降の教育委員会定例会議に議案として上程する予定である。議決を得た後は、点検及び評価の結果に関する報告書として、議会に提出するとともに公表を行う予定である。草案において、総合評価に変更があったなど補足説明が必要なものについて、各課等の長から説明をお願いする。

【参事兼学校教育課長】学校教育課に係る点検及び評価の内容について、総合評価が変更又は進展等があったものについて説明をする。資料8ページ9番「ふるさと学習に関する研修の実施」では、平成28年度のB評価から平成29年度では評価をAとした。理由は、ふるさと巡検と新規採用職員の地域の特色ある研修を合同で開催し、新規採用職員は9名全員が参加し、対象者11人中10人が参加となったことから、90%を達成したため総合評価をAとした。10ページの13番「中学生を対象とした「わくわく Working!(富里市職場体験学習)」の充実」では、平成28年度のB評価から平成29年度では評価をAとした。受入れ事業所数の目標を平成28年度は100箇所としていたが、これを75箇所に再設定した。実績に鑑みて一事業所当たりの平均受入れ数6.4人

を現在の中学2年生徒数の375名で割り返すと約59の事業所数となることから、プラスアルファの75箇所の受入れを目標とし、実績としては82箇所の受入れとなったことから100%の実施率となった。また、授業時数も13時間の実績により目標を達成したので総合評価をAとした。続いて14番「小学生を対象とした「ゆめ・仕事ぴったり体験(地域密着環境学習)」の実施」についても、総合評価をBからAとした。受入れの事業所数の目標を100箇所から55箇所に再設定した。実績に鑑みて一事業所当たりの平均受入れ数7.4人を小学6年生374人で割り返すと約50事業所となることから55箇所の受入れを目標とし、実績では81箇所の受入れとなり、授業時数も15時間の実績により目標を達成したので総合評価をAとした。15ページの23番「ジョイント・スクール推進事業の充実」についても総合評価をBからAとした。意識調査の満足度が前年度と比較し向上し、目標値に近くなったため評価をAとした。平成28年度に指標としていた不登校率を平成29年度では除外したが、この理由は、本市の家庭環境や地域性に鑑み、少しずつ不登校は解消しているものの、国や県平均になかなか到達できない現状があるためである。児童生徒の意識調査の中、みんなで何かをするのが楽しいとの回答率が目標を超えているので、本市が力を注いでいる「ジョイント・スクール推進事業の充実」について、成果が得られていると判断し総合評価Aとした。16ページの25番「適応指導教室(ふれあいセンター)」では、A評価からB評価とした。これは、学校への復帰率が前年度より低下していることからB評価とした。今後、目標値である学校の復帰率について、数値目標を変更することを検討する必要があると考えている。指導教室は学校への復帰施設ではあるものの、復帰率の目標を100%と掲げていることには無理があることから再度検討していきたい。ふれあいセンターの児童・生徒は昨年度7名であった。7名のうち復帰したのが1名となったが、7名中7名の復帰はかなり厳しいと考えられるものの、目標値について検討・研究することを課題としながら今回はB評価とした。20ページ34番「学校支援ボランティア活用の推進」では、平成28年度B評価から平成29年度はA評価とした。学校支援ボランティア登録者数において登録団体数が29団体と前年度より上回っており、かつ目標値に近いことからA評価とした。学校支援ボランティア登録者数が個人で目標を大幅に超えるとともに、団体目標においても97%達成したことから総合評価をAとした。21ページ36番「安全な食材選びと衛生管理の徹底」では、検便細菌検査及び食品細菌検査の実施回数では目標値を達成しているものの、

衛生管理や食材納品時の検収については、一層の徹底及び継続的に遂行していく必要があることから、平成29年度の総合評価はBとした。

【生涯学習課長】資料中の生涯学習の推進について、生涯学習課では9項目を所掌している。このうちAの評価が5項目、B評価が4項目である。B評価4項目のうち、27ページ上段の「放課後子ども教室の推進」では、2校で実施し目標の実施回数を11回としたものの、実績は10回で実施率90%となったことからB評価とした。28ページ上段の「とみっこ大学ふるさと富里再発見 in 小岩井農場」では、とみっこ大学の一環として、ふるさとを思いやる視点から小岩井農場の視察研修を組込む形で実施した。参加児童の満足度80%を目標にしたところ、そのアンケート調査では、とみっこ大学全般の児童満足度は87%、小岩井農場参加児童の満足度は100%となった。総合評価でBとした理由は、運営体制等を十分に整える必要性があることと、内容について更に充実をさせる必要があると判断したためである。

続いて「とみさとザ・ワールド・キッズ」&「英語ふれあいDay」推進事業の実施では、とみさとザ・ワールド・キッズの実施小学校区数の目標5小学校区に対し、実績は、富里小学校、富里南小学校、七栄小学校の3小学校区となり、実施率が60%となったことからB評価とした。29ページ下段の「社会環境浄化活動の推進」では、青少年の健全育成の推進のため違法広告物等の撤去を関係部署と連携し実施した。実施回数目標9回に対し実績は7回にとどまったことからB評価とした。次に、文化・スポーツの進行について、重点項目13項目のうち、12項目をA評価、1項目をB評価とした。B評価は、37ページ上段の「総合型地域スポーツクラブの設立支援と育成」であり、現在、中学校区を単位として総合型地域スポーツクラブを運営している地区は、富里南桜クラブの1地区となっている。展開としては、各中学校区単位でクラブの設立支援・育成をしていく計画であるが、北部地区では、過去に説明会及びアンケート調査を実施したものの、その後の進捗がない状況にあり、中部地区では説明会の機運がなく、目標とする準備委員会設立のための地域説明会の実施に至らなかったことから総合評価をBとした。

【図書館長】資料の30ページから32ページに図書館の事業が5つある。このうち、4つの事業をA評価としたものの、32ページの「ボランティアの育成支援」はB評価とした。この事業では、読み聞かせボランティアの延参加人数について、300名を目標としたが237名の実績となり、また、図書ボランティア延べ参加人数について、300名の目標としたが162名の実績であった。図書館活動への理解を深めてもらう

ために定期的に各ボランティア活動への参加呼びかけを進めているが、一層の働きかけにより多くのボランティアの力を活かした図書館運営を進めていくことを考えている。

【教育長】説明が終わった。質疑等があればお願いします。

【委員】 23 ページ 39 番の「給食残菜への取組」について、B 評価となっているが、平成 28 年度 19.79% から平成 29 年度は 17.78% となり、目標値の 15% には達していないものの前年度比較では約 2 ポイントの改善である。残菜は、一年を通して予期できない学級閉鎖などにより増えることもある。そのような条件の中で 2 ポイントの改善は、総合評価として A に値すると感じた。

次に、27 ページ 47 番の「放課後子ども教室の推進」について、実施回数目標 11 回に対し 10 回の実績となっているが、どのような理由から 1 回実施できなかったのか。

次に、29 ページ 52 番「社会環境浄化活動の推進」について、違法広告物等撤去作業の目標 9 回に対して 7 回の実績とあるが、有害広告設置防止等対策では、市長部局や各自治体など関係機関の協力を得る必要があり、教育委員会の力だけでは難しいことなので、総合評価としては A に値すると感じている。

【給食センター所長】残菜率について、前年度から約 2 ポイントの改善となったものの、目標値の 15% には達していないことから、B 評価とした。

【生涯学習課長】放課後子ども教室の 1 回の未実施については、富里第一小学校で当初 5 回の実実施計画であったものの、その後、地域住民のボランティアスタッフと学校、事務局の協議により 4 回の実施に変更となったためである。

有害広告物等の撤去については、市長部局の市民活動推進課を中心に連携して実施しているところであり、回数等では、天候等に左右されることもあるが、目標に対して計画的に取り組んでいきたい。

【教育長】他に質疑があればお願いします。

【委員】 2 点質問する。まず、給食の残菜率について、学級閉鎖など突発的なことにより異常的な値となっていることがあると感じている。特に少人数の学校などでは、急な 1 人の欠食も残菜率に影響を与えるので、この事業評価では、特別な事情による値を除いて評価することが妥当と考えている。

2 点目は、6 ページ 5 番の「とみの国」検定の実施について、課題・改善点の中で、達成率は 3 割に達しなかったと記載があるが、これはマイ

スター認定の達成率のことか。また、指標では、マイスターの対象となる中学生の合格率が84.2%の実績となっているが、これらの数値の内容を説明願う。

【給食センター所長】残菜率の精度を高めることは重要なことであるものの、現在、学校側の欠席状況が給食センターのデータに反映できないところがあるので、今後、統計値が正確になるよう努力する。

【参事兼学校教育課長】マイスターの制度では、中学生の意欲を喚起するために1年間あたり3回のすべての検定で90点以上を達成した生徒にマイスターを認定している。そのマイスター達成率が28.1%であった。なお、課題・改善点欄では、マイスター達成率を3割に達しなかったと表現している。また、指標の合格率では、検定で70点以上を達成したものを合格者とし、中学生の合格率目標を90%としたものの実績は84.2%であった。これらを総合的に検討し総合評価をBにした。

【委員】16ページ25番の「不登校やいじめ等に対応する支援体制の確立」について、参事兼学校教育課長の説明にもあったが、指標では、学校復帰率100%は不可能に近い数値に思えるので、復帰率ではなく、目に見えるようなものに変えた方がいいと思う。

【参事兼学校教育課長】適応指導教室として、ふれあいセンターの設置目的が学校へ復帰するための施設であることから、適切な指標については、慎重に検討を重ねたい。目標では、復帰を目指すものの復帰率100%は困難であることから、まず値を100%ではなく最近の傾向を分析して定めていくこととする。

【委員】13ページの19「個別指導補助員の配置」について、市特別支援教育研修会への参加率では、50%の目標が定められているが、特別支援を要する児童・生徒は増えていくとともに多様化している状況にある。より適切な指導をするためには、個別指導にあたる教員に相応の研修が必要になるが、研修参加目標を50%としている理由を伺う。

【参事兼学校教育課長】目標値を50%とした根拠については、研修を開催するものの、個別指導補助等の担当教員は、児童生徒への対応が長引くなどにより参加できない状況があると認識しているが、明確には再確認のうえ回答する。

【委員】学校給食の残菜について、毎月の残菜率の統計資料から給食センターや学校の努力がわかるが、学校により数値に差が出ているので、指導や協力方法を考える必要がある。

【給食センター所長】給食指導等について、小規模校は比較的伝わりやすく、大規模校は反応が現れづらい傾向にあるものの、担任教員の取組

や栄養教諭の巡回指導などにより、児童・生徒一人ひとりに給食を残さず美味しく食べられるような意識を高めていきたい。

【委員】 21 ページ 36 番の「安全な食材選びと衛生管理の徹底」について、指標の検便検査及び食品細菌検査の実施回数では、いずれも目標どおりの実績となっているので、A評価が妥当と考える。

【参事兼学校教育課長】 検便細菌検査及び食品細菌検査の数値目標は達成したものの、給食センターの衛生管理について、改善向上へ向けた指標以外の評価を加味し、自己評価としては総合的にB評価とした。

【委員】 14 ページ 22 番「学校図書館司書配置による読書活動の推進」について、本の貸出数などの達成率が高いので、総合評価としてAを妥当と考えるが、富里南中学校の図書室をこれまでに見た中で、書棚が高い構造からはしごを使用しないと見えない本があったことを思い出した。図書館では、児童向けの本などが児童の目線に置かれ、本が一望できるようになっている。このような配慮を学校図書館においても期待する。

【参事兼学校教育課長】 児童・生徒の目線で本の貸し出し等ができるように学校配置の司書教諭などと工夫改善に努める。

【教育長】 他に質疑等があれば、お願いします。

(質疑なしとの声あり)

【教育長】 他に質疑がないので、本協議について、本日の内容を踏まえて事務局で調整することに意義はあるか。

(異議なしとの声あり)

【教育長】 それでは、事務局で作業を進めることとする。

7 報告事項

【教育長】 次に報告事項に入る。報告事項(1)月例報告をお願いします。

【教育総務課長】 6月4日に定例議会が開会し21日に閉会した。本教育委員会定例会議のその他事項で報告を予定している「学校におけるブロック塀への安全点検等について」、21日の市議会終了後、市議会議員全員で構成する全員協議会において報告した。

7月については、第5回教育委員会定例会議を7月24日(火)に開催する予定である。

【参事兼学校教育課長】 6月では、5日に校長会議、6日教頭会議を行った。18日から19日にかけて校長目標申告のヒアリングを行った。

7月には、2日に校長会議、3日に教頭会議、6日に市教育支援委員会、13日に学校給食センター運営委員会の開催を予定している。学校では一学期の終業式と夏季休業を迎える。また、7月26日に社会科教育副

読本編集会議， 7月30日から8月3日にかけて，きょうざん塾及び教育関係講座， 7月31日には不祥事根絶研修会と教育講演会を行う予定である。

平成29年度分学校給食費徴収状況について，平成30年5月末現在では，98.89%である。前年同期比で0.52ポイントの増加である。通常の督促に加え事前に児童手当から給食費へ一部又は全額を充当する申出の額が，滞納者との納付相談の結果として前年度を上回ったことが徴収率を上げた要因と考えられる。平成30年度分学校給食費徴収状況では，5月末現在で91.79%であり，前年同期比1.07ポイントの増加である。引き続き徴収率向上に努める。

第3回校長会議では，市役所等の各課から伝達事項があったほか，学校教育課は，学校運営，教職員の服務，連絡事項等の順に伝えた。小学校では，4校の運動会が5月に実施され大きな事故なく無事に終えた。中学校では，自然教室を5月に1校で終え，6月には2校で行う，修学旅行を7月に2校で予定するなど，今後とも大きな行事が控えていることからよろしく願いした。次に，学校評議員の推薦及び任期等について，地域の充て職や学区外の推薦者など適格性の再確認をお願いした。教職員の服務では，県教育委員会から通知のあった懲戒事例等を配布し不祥事を絶対に起こさないよう注意喚起するとともに，多忙化解消，働き方改革を意識するように労務管理の徹底を伝えた。療養休暇・休職については，手引き等を配布し留意事項等を説明した。各学校の最終退勤者については，要因を分析するとともに，繁忙期はあるものの再度校長から各教員に意識を変えるよう，管理職自身がしっかり意識したうえの学校経営をお願いした。また，市議会に係る一般質問の内容について，各校長に共通理解を図った。その他連絡事項としては資料のとおりである。

【給食センター所長】 5月分の残菜率について，前月比較2.96ポイント増，前年比較0.67ポイント増19.6%となった。増の理由としては，2つあり，まず1つ目は気温と献立の関係が考えられ，平均気温が過去3年平均より2度，最高気温で2.3度高い平均21.4度となり，25度を超える夏日が5日間となり，全体として暑い月であったことが挙げられる。そこで，温かい汁物の残菜率が上がり，特に4月26日の若竹汁では34.6%の残菜率となった。これまでも味噌を使った汁物では，残菜が多くなる傾向にあるが，日本食の推奨する観点からは献立改善が難しい。なお，献立にあたっては，気温を予想するもののアレルギー対策等もあり2箇月前には決める必要がある。

2つ目の理由としては、4月末から5月上旬にかけて、感染性胃腸炎の発症があり学級閉鎖には至らなかったものの欠席者が続いた。特に浩養小学校の給食では、これまで全校児童が同じ教室で食べることで低学年と高学年の交流により残菜率に良い効果が表れていたが、感染性胃腸炎の蔓延防止のため各教室で食べることとなり、欠席者の残菜に加え残菜率を上げることとなったと考察している。

【生涯学習課長】まず、社会教育班及び文化資源活用班に係る報告をする。6月は資料のとおりであるが、14日に社会教育委員会議を開催した。7月は、6日に文化財審議会を予定している。次に、スポーツ振興室に係るものについて、6月は資料のとおりスイカロードレース関係の行事が続いた。7月には、第69回印旛郡市市民体育大会の開催を迎え、7日に総合開会式、8日から競技を開始し、11日にはゴルフ競技を市内の久能カントリー倶楽部を会場に、14日には剣道競技を市の社会体育館を会場に開催する予定である。

【図書館長】6月の主な行事としては、富里北中学校と富里中学校の家庭教育学級の来訪があった。7月には、12日に図書館協議会、その後、児童生徒の夏休み向けの各種行事を予定している。また、15日には平成30年度第1回歴史講座の予定がある。

【教育長】説明が終わった、全般を通して質疑等があればお願いします。
(質疑なしとの声あり)

【教育長】郡市民体育大会の教育委員応援について、競技が集中する7月15日に行くこととしてよろしいか伺う。
(異議なしとの声あり)

【教育長】それでは15日を応援日とするので、よろしくお願いします。

8 その他

【教育長】次にその他に入る。教育委員から発言はあるか。
(なしとの声あり)

【教育長】事務局から発言はあるか。

【教育総務課長】6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により大阪府高槻市市立小学校プールのブロック塀が倒壊し児童が亡くなるという事故が発生した。お悔やみを申し上げます。この事故により6月19日に文部科学省から通知があった。学校におけるブロック塀等の安全点検について、これに対する本市教育委員会の対応状況を報告する。通知があった6月19日から21日まで廃校の1校を含む市立小・中学校11校の施設の安全点検を実施した。点検の内容は、図面によりブロ

ック塀の有無等を洗い出し、現地調査で歪みやヒビなどを目視点検した。この結果プールサイドにブロック塀があった学校は2校で、1校は細かなヒビがあったが傾斜や歪みはなく本市の建築担当及び成田土木事務所に構造上の安全性について、再度確認をしていくところである。もう1校は、劣化等によりコンクリートブロックに剥離があるため改修を実施したいと考えている。その他の学校については、すべてが鉄筋コンクリート造であった。また、現在プール事業が行われていることから周囲の立ち入りについて、学校において注意喚起をするなどの安全対策を講じている。

【参事兼学校教育課長】 通学路の安全点検について、今回は交通安全ではなく地震発生を想定し、壁・ブロック塀などが倒壊する危険な建造物等の有無を学校へ調査依頼しているところである。なお、各学校の教頭には、明日、調査の視点や調査の程度などを再度説明し、共通理解を図る予定である。実際に学校の中には点検が終了しているところもある。その中では、ブロック塀や傾いた看板など危険が挙げられているので、それらの確認を進めるとともに、今後、各学校から提出される調査結果を基として、市の関係部局や成田土木事務所等と連携を図りながら安全対策に取り組んでいく。

次に浩養幼稚園の学級閉鎖について、年長クラスで6月18日及び19日の2日間を閉鎖した。経緯としては、6月14日に感染性胃腸炎と思われる年長児4名が欠席となり、同日午後には、疑わしい園児の早退が加わり欠席者が合計6名となった。翌15日の県民の日、翌々日の土曜日、日曜日を挟んだ18日の朝の時点で、更に感染性胃腸炎の疑いのある園児の情報や欠席連絡等があったため、園医の指示を仰ぎ18日及び19日の2日間において感染性胃腸炎蔓延防止のため学級閉鎖の措置をとった。現在、園は通常の運営が行われ、欠席児童も特にはない。

【生涯学習課長】 第35回富里スイカロードレース大会を無事に終了することができ、皆様の協力に感謝する。実施の状況については、申込者数12,590名、出走者数11,476名、完走者数11,327名であった。当日の気象状況では、10時現在、天候は雨、気温20.7度、湿度97.8%、風は東北東で風速1.4メートル、最高気温は正午で21.6度、救急病院搬送者数は2名、うち1名は当日退院し、もう1名は6月25日に退院した。招待選手は予定どおりの参加となり、ユニバーサルエンターテイメント佐倉アスリート倶楽部3名、日本大学陸上競技部8名、順天堂大学陸上競技部10名、富里高校陸上競技部4名の合計25名の参加であった。

【教育長】説明が終わった。質疑等はあるか。
(質疑なしとの声あり)

9 教育長閉会宣言

【教育長】以上で平成30年度第4回富里市教育委員会定例会議を閉会する。